



マレーシア工科大学 (UTM) との職員交流プログラム

Non-academic Exchange Between UTM & SU

コロナ禍における大学マネジメント及び留学生支援

University management and support for international students in COVID-19 pandemic

2021.10.18 Mon. 13:30~16:30
オンライン (ZOOM) / 使用言語: 英語

2018年度から毎年実施している、マレーシア工科大学 (UTM)と静岡大学 (SU)間における事務系・技術系職員同士の交流を、今年度はコロナ禍のためオンラインで実施します。グローバル化研修の一環でテーマに沿って職員が発表します。

静岡大学におけるコロナ対策や業務の様子を共有すると共に、国として厳しいロックダウンをしているマレーシアが日本と同様、感染拡大に苦しんでいる状況で、UTMの大学マネジメントや最新の感染対策をシェアいただきます。

スケジュール

1. 両大学あいさつ (UTM) Rosli Illias 副学長
(SU) 近藤 真 副学長

2. 発表

※タイトルは変更する可能性があります。

(静岡大学)

1. Ms. Shizuno Kobayashi
- Management of International Program
in COVID-19 situation

3. Ms. Kanae Hirahara
- The change by COVID-19 in the field of education

5. Mr. Kosuke Matsumoto
- Our approach against COVID-19 on club activities

3. ディスカッション

(UTM)

2. Mrs. Arina Syairah binti Maslani
- Managing UTM International Office During Pandemic

4. Mr. Mohd Khirie Mutalib bin Mat Kassim
- Managing International Student Well Being

6. Mr. Mohd Farizal bin Rashid
- Pandemic Disruptive Behavior In International
Research Scope



共催



【お問合せ】

国際交流課 深井・小林

TEL: 054-238-4996

MAIL: int-general@adb.shizuoka.ac.jp

【参加方法】

右記のQRコードから参加してください。➡

または、

下記ZOOMアドレスより参加できます。

<http://bit.ly/3meWS3u>



マレーシア工科大学（UTM）との職員交流プログラム

THE 3rd INTERNATIONAL NON_ACADEMIC_SEMINAR_EXCHANGE_2021

2021年10月18日（月）13:30～16:30 Zoom ウェビナーにて開催

アブストラクト

1. Management of International Program in COVID-19 situation

小林 静乃（静岡大学国際交流課）

新型コロナウイルス感染拡大は、海外派遣及び留学生の受入に多大な影響を及ぼしました。海外派遣に関しては留学中の学生を呼び戻す、また約1年半に及ぶ派遣事業停止等の対応を余儀なくされました。留学生受入れに関しては交換留学生、国費留学生共に入国ができない状況が続きました。このような状況の中で、留学生等に対して大学が行った財政的支援、また国境を越えた交流ができない状況においてもオンラインにより国際的視野を広げる機会として開発した新たな国際教育プログラム等について紹介します。

2. Managing UTM International Office During Pandemic

Mrs. Arina Syairah binti Maslani（Corporate & Student Services, UTM International）

UTMの国際組織はジョホールバルキャンパスにある3つの部門（国際戦略、教育国際化、法人及び学生支援）及びクアラルンプールキャンパスにある支部で構成しています。

コロナ禍が大学や国際組織にどのような影響を与えたかについて、さらに働き方や感染防止対策、在宅勤務を支える情報インフラサービス、学生サービスの維持のための様々な工夫について紹介します。

3. The change by COVID-19 : Especially in Obtaining a Teacher's License in Japan

平原 叶（静岡大学人文社会科学部学務係）

新型コロナウイルス感染症によって、大きく変化した日本での教員免許状取得の過程について、教育実習と介護等体験に焦点を当てます。教育実習は、3週間の学外実習が必要でしたが、2週間の学外実習と大学での実

習でもよいことになり。その後、実習の単位の全部または一部を大学での実習もしくは、教育実習以外の科目でも代替可能になりました。小中学校の教員免許状取得要件である7日間の介護等体験についても、視覚・聴覚障害児についてのレポート提出という代替措置を実施しました。最後に、代替措置の課題を説明します。

4. Managing International Student Well Being

Mr. Mohd Khirie Mutalib bin Mat Kassim (Global Education & Experience, UTM International)

全学生の20%を占める留学生が所属する世界的規模の留学生会の活動や、UTMに入学する留学生の生活面・学修面での全面的なサポート体制に加え、留学生の課外活動、ボランティア活動、コロナの脅威から留学生を守るための活動、さらに留学生の病気、事故、コロナ死に対して大学としてどういった対応が最も幸福に資するかという観点についてお伝えします。

5. Our approach against COVID-19 on club activities

松本 晃輔 (静岡大学地域連携推進課地域プロジェクト係)

新型コロナウイルス (Covid-19) の感染拡大により、学生の課外活動も大きく制限を受けました。静岡大学は、多種多様な課外活動団体が日頃から積極的に活動している点が特色の1つであり、課外活動実施の可否は学生のキャンパスライフにおいて大きな意味を持っています。課外活動を一律中止とするという選択ではなく、新型コロナウイルスの感染状況と活動内容に合わせた細かな活動指針を策定することで、コロナ禍での課外活動を模索し実施していきました。

6. Pandemic Disruptive Behavior In International Research Scope

Mr. Mohd Farizal bin Rashid (Industry & International Linkages Unit, Strategic & Research University Division, Research Managment Centre)

経済活動のオンライン化がコロナ禍により加速している現状で、暗号通貨とブロックチェーンをはじめとするデジタル技術が、マレーシアの経済政策や研究活動に伴う資金調達にどのような可能性を与えるか、さらに資産の分散化を促進し、グローバル化や経済格差の縮小に寄与する可能性について、最新の知見を共有します。